



東公民館だより

令和4年3月号

令和4年3月18日発行

みどり市東公民館

TEL 97-2721

FAX 97-2424

◎かんたんスマホ教室(入門編) 開催しました。

携帯電話会社の方に講師をしていただき、
令和4年3月9日に、スマホ教室を開催しました。
参加された方からは、おおむね高評価が得られたようですが、
自分のスマホと違う機種に戸惑いながら、熱心に操作していました。
スマホ教室は、今後も開催したいと思っていますので、
機会があったら、お気軽にご参加下さい。



公民館運営にあなたの意見を！公民館運営審議会委員を募集

市民の幅広い意見を反映させるため、公民館の運営や各種事業の企画実施について審議する「みどり市公民館運営審議会委員」を公募します。

▼募集人数 1人

▼職務内容 ・館長の諮問に応じ、公民館での各種事業の企画実施について調査審議する。
・公民館の管理、運営及び事業に関し、独自に立案建議すること。

▼応募資格 次の①～④のすべてに該当する人

- ① 市内在住
- ② 令和4年4月1日現在で年齢20歳以上
- ③ みどり市の他の審議会などの委員でない人
- ④ 平日夜間に開催する会議(年6回程度)に出席できる

▼任期 委嘱された日から令和6年3月31日まで

▼報酬 市の報酬費用弁償支給条例に基づき支給

▼申込方法 以下の書類を持参・郵送・ファックスまたはE-mailにより提出

① 申込書

② 「応募動機について」の作文(様式自由、400字～800字程度)

※ 提出された書類は返却しません。

▼受付期間・時間：3月15日(火)～4月15日(金)(必着) 午前8時30分～午後5時15分

▼申込書配布・申込受付場所

- ・ 社会教育課(教育庁舎内)：月曜～金曜
- ・ 笠懸公民館・東公民館：火曜～日曜
- ・ 多世代交流館：月曜～日曜

※ 受付期間中に配布します。

※ 市のホームページからもダウンロードできます。

▼選考結果 本人に直接通知します。

▼問い合わせ先 みどり市笠懸公民館

379-2311 みどり市笠懸町阿左美1581-1 TEL 0277-76-2211、FAX 0277-76-2836

E-mail kouminkan@city.midori.gunma.jp



東町人口【2022.2月末】

男	女	合計	増減(前月比)	世帯数
818	929	1,747	▲6	866



みどモス

紙上講座 「いにしえの東の旅」

高山彦九郎日記6



講師 藤井 実さん（東町花輪）

もと来た道に戻り沢入鎮守の森を過ぎると、東宮大明神という神社がある。

神社を右に拝し、「はち沢」を過ぎた草木・神戸に着く。昨日休んだ酒屋によって濁り酒を飲む。

草木には「釜石」といって水をためている大きな石があるという。また四十八海といって四十八の穴のあいた石や、われ石といって二つに割れたような大きな石があるという。

この三つの石はこのあたりで有名なのだそう。これらは左を流れる渡良瀬川の中にあるから、今度遊びに来てくれた時にはと、酒屋の主人が話す。

酒屋を出て高瀬氏の家を訪ね、他にも行くところがあるのでと挨拶だけして高瀬宅をすぐに出た。しばらくのあいだ小雨がふった。

花輪に着いて昨日休んだ所で休憩した。大洞赤城神社の参詣帰りの人を多く見かける。足尾の大黒様に参詣してきたという者にも会ったが、白蛇塔に詣でたという者はきわめて少なく、塔の沢より沢入宿までの間、会う人二十人にも満たない。

萩原を出て、渡良瀬川を左へ渡って行くと大間々へは一里ほど近いと聞いたが、昨日やってきた道をたどり深沢を過ぎ、神梅で日が暮れた・・・（以下略）・・・



※江戸時代の中頃には、「相輪塔」「寝釈迦」はすでに知られている地だったことがわかります。機会があれば、高山彦九郎が旅した道をたどって見るのも一興と思います。

あずま文芸

俳句

熊出しと言う 張り紙や峡に雪
みずぐるま

水車 朝日の籠もる 氷柱かな

喜びて 孫踏みしめる 霜柱

短歌

山肌に 雪の残れる袈裟丸を
眺めつつ散歩 曇り空なり

大寒や 無住の寺に猿舞う
ましう

餌なき山の トランポリン
太陽光 処分の不安現実
土に埋めてる テレビ放映



金子 照子

今泉 紀美代

高畑 美智子

高瀬 安代

千葉 正篤

影沢 美代子

今年度は、6回に渡り
240年前の東町の

様子を高山彦九郎（江
戸時代中頃の勤王思

想家で幕末の勤王の
獅子たちに大きな影

響を与え、明治維新に
導いた人物）の旅日記
を通してお伝えして
います。
今回は、最終回です。

ベジュサの会作品展のお知らせ

東公民館で活動しているパッチワークのグループの作品展です。

日時 4月9日（土）、10日（日）

10時～16時

会場 桐生市民文化会館地下展示室

入場無料（プレゼントもあります）

興味のある方は、是非お出かけ下さい。

公民館だよりは、令和三年度の最終号になりました。

現在、石原和三郎先生の没後百年記念事業の計画を進めています。

いろいろな面で、活動が制約される日々ですが、新年度は、公民館や童謡ふるさと館などの施設で皆さんさんにお会いする機会が、増えることを期待しています。感謝